

## 日本最南端

高知職業能力開発短期大学校の磯部先生より紹介を受けました沖縄職業能力開発大学校の諫山です。磯部先生は学生時代、何もできない私に一方向的に勉強を教えてくださいました心優しい方です。ありがとうございました。



私の住む沖縄県には、約160の島々がありますが、中でも石垣島を中心とした八重山諸島にある波照間島は、有人では日本最南端に位置する島として知られています。「限定」や「日本一」などの言葉にめっぽう弱い私は、この「日本最南端」という響きに魅了され、一度でいいから行ってみたいと思っていました。それがこの夏、ついに家族3人で旅することができたので、今回はそのお話をしたいと思います。

波照間島へは、沖縄本島から石垣島に飛行機で移動した後、高速船か飛行機に乗り継ぎます。高速船でも60分、お財布にもやさしいので、今回は高速船に乗ることにしました。後から聞いた話ですが、波照間島行き的高速船は、他の島行きと違って外洋を航行するため、海上の状態によっては欠航することがよくあるそうです。今回は運良く出航できたのですが、外洋に出たときは上下左右に激しく揺れて、とても怖かったです。

波照間島に着いて、まずレンタル自転車を借りました。大きい島ではないので、移動手段としては最適です。8カ月の息子を前かごに乗せて、波照間島の南端、本当の日本最南端の地に向けていざ出発です。

2006年8月7日。ちょうどこの日は年に一度の「ムシャーマ」の日でした。ムシャーマとは波照間島の繁栄を願うお祭りのことです。島の中央にある公民館の前では、踊りや獅子舞、仮装行列などが催されており、とても神秘的でした。妻は見入っていましたが、私はコップ売りされていた幻の泡盛、「泡波」のほうに気がなくなって仕方ありませんでした。



ムシャーマが一段落したので、寄り道をやめて自転車の旅を続けます。ガラガラと照りつける太陽の下、息子の機嫌がよいうちにと、汗だくになりながら自転車をこぎました。途中、道を間違え坂道を引き返したり、放し飼いのヤギをかわしたり、前かごの息子が眠いと騒いだりと、なかなか大変でしたが、30分後、大きな石碑が見えてきました。しかし、よく見ると平和の碑と書いてあり、パンフの写真とも違っていています。そばまで行くと、その大きな碑の陰に隠れるようにそれはありました。「日本最南端の碑」です。ようやく辿り着くことができ感動しました。この瞬間に日本の最南端にいるのが自分たち家族だと思うと、何ともいえない気分でした。

波照間島の旅が最高だったので、はやくも次の目標が決まりました。最西端の与那国島です。その頃はきっと息子も自分で自転車をこげるようになっていでしょう。とても楽しみです。



さて、次回は福島センターの矢口博道先生です。矢口先生には学生時代、よく峠のドライブに連れて行ってもらいました。タイヤのきしむ音が懐かしいです。それでは、矢口先生よろしくお願ひします。